

第6回恵那市リニア中央新幹線対策協議会【会議要旨】

日時：令和3年3月26日(金)

午前10時～午前11時30分

場所：恵那文化センター集会室

○あいさつ

【報告事項】

1. リニア中央新幹線関連事業の進捗状況
2. 中部電力リニア中央新幹線電力供給事業の進捗状況
3. その他
 - (1) リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の要望について
 - (2) 武並町藤区田尻自治会工事説明会について

公開または非公開の別 公開

出席者

小坂喬峰会長、後藤康司副会長、鵜飼伸幸委員、西尾努委員、宇野弘委員、山内達雄委員、岡本光美委員、坪井弥栄子委員、瀬瀬鍊一委員、石原茂美委員、西尾公男委員、鈴木雅博委員、可知于委員、佐藤吉松委員、本田繁委員、梅田光成委員、柘植恒雄委員、市川美彦委員、林憲二委員、西尾義男委員、田口優一委員、阿部護委員、小川智明委員、曾我佳奈子委員、前川登委員、大畑雅幸委員、林雅樹委員、谷口哲也委員、梅村浩明委員、平林剛寿委員

開会

○ あいさつ（小坂喬峰会長）

- ・リニア事業について毎回言っているが「プラスの効果を最大にしてマイナスの効果を最小に」という思いで当協議会を立ち上げている。
- ・恵那変電所工事着手を受け、2月末に現地視察を行ったが、大変大がかりな工事が行われていると改めて認識した。その他にもリニア関連のプロジェクトが進められるが、市からも皆さんに対して積極的にお知らせしていきたい。
- ・リニアまちづくり基盤整備計画を着実に推進するため、新年度予算にも反映させ、事業着手を図っている。その一つとして、恵那峡SAスマートインターの話等も動きだしている。
- ・昨年11月16日にリニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会によるJR要望を行われた。恵那市としては金子社長に対し、フード化等による音源対策についての申入れを行った。

【報告事項】

1. リニア中央新幹線関連事業の進捗状況

事務局から、リニア中央新幹線関連事業（大井町2区観音寺・岡瀬沢、3・13区青木・北関戸、7区野尻・野畑・大井長島、8区旭ヶ丘・長丘、長島町中野・久須見、武並町藤東部、武並町藤西部、岐阜県内）の進捗状況及び日吉トンネル（武並工区）事業者公募について報告。委員から以下のとおり発言があった

報告内容

《恵那市内の進捗状況》

- ・大井町2区で、騒音に対する環境対策工についてJR東海、地域で協議中
- ・大井町3・13区、武並町藤東部で、用地取得を実施中
- ・大井町7区、8区（旭ヶ丘）、武並町藤西部における、付替道路等についてJR東海、地域、管理者協議中
- ・大井町8区（長丘地区）、長島町中野・久須見で、用地取得準備中
- ・武並町藤東部で、工事説明会を実施し、工事着手準備中
- ・武並町藤西部で、用地取得準備中、JR東海による事業者公募実施
- ・大井非常口から発生する建設発生土の運搬経路についてJR東海と協議中

《岐阜県内の進捗状況》

- ・恵那市の一部を除く中心線測量完了
- ・中津川市では第二木曾川橋梁、岐阜県駅（仮称）工事準備中
- ・瑞浪市では日吉トンネル（南垣外工区）工事実施中
- ・御嵩町では美佐野トンネル工事準備中
- ・可児市では第一中京圏トンネル（大森工区）工事実施中
- ・可児市では第一中京圏トンネル（大針工区）工事実施中

《発言内容》

（委員）

- ・昨年7月10日に大井町7区8区リニア対策協議会より恵那市長に対して要望書を提出し2月4日に回答を受けた。JR東海に関連する項目もあったため、回答に時間がかかったと

思うが、恵那市側に関連する項目の回答について、地域としては不十分と感じている。地域の課題についてはリニアまちづくり課と関係課の意思疎通を図り、対応して欲しい。

- ・中津川市で自然由来のカドミウムやヒ素を含有する建設発生土の問題が沙汰されている。本市では発生土を三郷町、山岡町で活用されるという説明だが、発生土にカドミウムやヒ素を含有する可能性があるのか？掘削土の成分について JR 東海側に問題提起して欲しい。

(事務局)

- ・要望書については指摘のとおり JR 東海との調整に時間を要し、回答が遅れてしまい申し訳ない。
- ・恵那市内においても自然由来の重金属等を含む「区分土」が発生すると想定している。JR 東海は区分土が発生した場合、工事ヤード付近に一時仮置きした後、専門の処理業者に処理を依頼又は自己所有地へ運搬して保管するとしている。三郷や山岡の受入施設には検査によって安全性が認められた土砂しか搬入しない。

(委員)

- ・中津川市坂下から瑞浪市にかけての木曽川両岸はラジウムやラドンの含有が多い場所である。発生土の短期抽出試験の検査項目に、六価クロムやセレンが含まれているが、こういった物質は自然由来の含有は考えられないので、ラジウムやラドンの調査を行うべきではないか。

(事務局)

- ・意見については JR 東海に伝え、配慮を求める。

2. 中部電力リニア中央新幹線電力供給事業の進捗状況

事務局から、中部電力リニア中央新幹線電力供給事業（500kV 恵那分岐線(武並町・長島町)、恵那変電所、154kV 送電線、岐阜県内）の進捗状況について報告。その後、中部電力から変電所、送電線建設計画について説明

《報告内容（恵那市）》

- ・500kV 恵那分岐線で、武並町と長島町の用地測量が完了。長島町では補償協議も完了し、令和 2 年 4 月から工事着手
- ・恵那変電所では用地測量、補償協議が完了。令和 2 年 2 月から工事着手
- ・154kV 送電線 長島町内で地質調査実施。工事説明が完了し令和 2 年 2 月から工事着手
- ・154kV 送電線 笠置町内では測量、仮設、自主環境調査実施中で、地質調査や補償協議が開始される予定である他、姫栗地内で資材置場の整備実施

《報告内容（中部電力）》

《中部電力あいさつ》（送変電技術センター リニア関連送変電工事所長 岡田博生）

- ・昨年 2 月より恵那変電所の工事着手を行い、約 1 年が経過した。昨年 7 月の豪雨の影響あったが、地域の皆さんの協力もあり、順調に進んでいる。
- ・来年度、再来年度には工事ピークを迎え、工事車両も増大する。地域の皆さんに工事状況等を積極的に説明するなど、丁寧に対応したい。

《中部電力担当者事業説明》

- ・事業面積は約 10ha で、内訳は変電所 7ha、搬入路 2ha、水路改修 1ha
- ・変電所事業用地は保安林指定を受けていたが、既に解除済。事業平面図の緑色で示した区域は残置森林範囲
- ・水路改修工事は、搬入道路（新設）からの排水を既存の茂立川水路へ安全に流下させるために必要な改修工事。2020 年春 6 に完工
- ・市道改良工事は、搬入道路が完成するまでの間、既設市道を利用するため、オーバーレイや側溝設置を行ったもの。2019 年 9 月に完工
- ・恵那変電所工事の土木工事は 2022 年上期に完了を見込み、電気建物等設備工事、試験運転等を経て、2024 年度には運開する予定

3. その他

事務局から「リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の要望」及び「武並町藤区田尻自治会工事説明会」について報告。委員から以下のとおり発言があった

《リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の要望について》

- ・令和 2 年 11 月 16 日に岐阜県知事及びリニア沿線 7 市町の長による JR 東海への要望活動を実施
 - 1. リニア中央新幹線の早期実現
 - 2. 駅及び駅周辺整備への協力
 - 3. 中部総合車両基地の着実な整備推進と産業観光資源としての活用
 - 4. リニア開業後のダイヤ編成の早期提示
 - 5. 県内駅と各地を結ぶ鉄道アクセスの充実
 - 6. 工事の安全対策と沿線自治体の意向に配慮した環境対策の推進
 - 7. 事業の円滑な須伸に向けての配慮

《武並町藤区田尻自治会工事説明会について》

- ・長島トンネルにおける名古屋方工事区域のヤード及びトンネル掘削工事の説明を実施。トンネル工事は長島トンネル全長約 5.9 km の内、名古屋方坑口から約 4.0 km 掘削する計画
- ・工事受注者は(株)大林組、(株)鴻池組、(株)大本組 J V、工期は令和元年 12 月 19 日から令和 8 年 6 月 30 日
- ・工事ヤードにはベルトコンベアで土砂が搬入され、判定用土砂ピットで土の成分を検査し、「区分土」と判定された場合は南側の遮水型土砂ピットで一時保管される計画。
- ・工事に伴い市道 05085 線、藤川沿いの農道、ヤード東側山中の公衆用道路が通行止となるが、既に地元協議等は完了。公衆用道路については道路の付替えを計画
- ・施工順序はヤード整備を含めた準備工を行った後、トンネル掘削は 2025 年まで実施し、2026 年前期にトンネル仮設設備撤去を行う計画
- ・建設発生土は主に国道 418 号線を運行し、三郷町と山岡町の受入施設へ搬入する計画。長島トンネル工事における車両運行のピークは 2022 年度となり、日最大で往復約 590 台（片道 300 台弱）、平均では 520 台／日程度
- ・工事環境保全措置として、工事区域、工事用車両等に関する環境負荷低減措置を採用

- ・土砂ピットにて試料を採取し、短期溶出試験及び酸性化可能性試験を毎日実施する。基準を超過した「区分土」が発生した場合は、岐阜県及び関係機関へ報告し、遮水ピットで一時的保管後、専門業者への処理委託等を検討
- ・大気質、水質等各種モニタリングを実施

《発言内容》

(委 員)

- ・P27 (P53、54) の事後調査、モニタリングのサンプリングは1か所のみか？複数個所から採取するのか。精度の観点からすると、複数個所から採取して平均を取る等の手法があると思うが、どのようにモニタリングが進められるか説明を求めたい。

(会長)

- ・JR 東海の説明資料を共有させてもらっているため、調査に関する考え方は JR 東海に確認し、回答するようにしたい。

○閉会のあいさつ（後藤康司副会長）

- ・皆さんから貴重な意見をいただいた。これらを踏まえ、これからしっかりと取り組んでいきたいので、今後も協力をお願いしたい。

閉会